希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんに役立つ情報や応援メッセージをお待ちしています。「ここにいます」「さがしています」「がんばろう」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

ここにいます

〈宮城県〉
★皇恵美子さん(62)＝石巻市築山（石巻高トレーニングルーム）多賀城市に住む兄の啹原和夫(70)へ。こちらは家族全員無事で、高山さんたちと一緒に避難しています。家は何とか2階には住めそうで、避難所から毎日片付けに通っています。そちらの様子を知りたいのですが、携帯電話の番号が分かりません。朋ちゃんは大丈夫ですか。

★山形つか子さん(52)＝塩釜市浦戸桂島庵寺（旧浦戸第二小体育館）茨城県竜ケ崎市に住むいとこの蜂谷しげ子(55)へ。避難所で島の人たちと暮らしています。自宅は無事でした。そちらの家族は大丈夫ですか。毎日心配しています。落ち着いたら連絡しますが、電話できるようでしたらそちらからもお願いします。

★太田美智子さん(58)＝石巻市大街道（石巻高トレーニングルーム）NPOの活動仲間で南浜町に住む亀田恵さん（40代）と連絡が取れず、心配しています。メグちゃん、大丈夫でしょうか。

さがしています

〈岩手県〉
☆大槌町の坂本智章さん(31)が安否を求めています。坂本さんは消防団員で、安渡の水門を閉めに行った後の行方がわかりません。「少しの情報でもいいので連絡ください」。携帯電話は090・4630・4206です。

☆宮古市の木村フミ子さん（60代）と夫の忠平さんへ　静岡市清水区の望月幸夫さん(78)と妻の和美さん(73)が自宅（0545）で連絡を待っています。フミ子さんは望月さんが経営する観光イチゴ園・かねちゅう農園で働いていたそうです。

〈宮城県〉
☆石巻市沢田の阿部昇一さん(60)へ　次女で登米市の今野ちひろさん(28)が消息を求めています。阿部さんは地震発生時、石巻市大街道南の「仙北メンテナンス」にいました。身長174㌢ぐらいで、紺色の作業服、茶色い靴をはいていたそうです。今野さんの携帯電話（090・9533・4702）か、阿部さんの自宅（0225・97・4515）に情報を寄せてください。

☆仙台市青葉区の原山重明さん、妻の優子さんへ　スイス・バーゼルのビーデマン吉武南さん(68)がメール（minamiyo80@hotmail.com）に連絡を求めています。原山さんは数年前にジュネーブに在住していた時、ビーデマンさんが経営していた旅行代理店を利用していました。優子さんは東北大教授らしいです。

☆女川町女川浜伊勢の遠藤節子さん（70代）へ　約20年前パート先で同僚だった横浜市の田丸京子さん(77)が捜しています。遠藤さんの息子の忠志さんは海産物販売店を営んでいました。「避難者名簿にお孫さんらしき3人と一緒に名前を見つけましたが、ご本人なら自宅（045・351・2766）に連絡ください」

☆東松島市大曲関の内の北村章平さん（70歳ぐらい）へ　東京都中野区の大島正昭（通称だいすけ）さんが心配していたそうです。

〈岩手県〉
☆大槌町の坂本智章さん(36)へ　妹で北上市の高橋恵梨さん(31)が安否を求めています。坂本さんは消防団員で、安渡の水門を閉めに行った後の行方がわかりません。「少しの情報でもいいので連絡ください」。携帯電話は090・4630・4206です。

☆宮古市の木村フミ子さん（60代）と夫の忠平さんへ　静岡市清水区の望月幸夫さん(78)と妻の和美さん(73)が自宅（0545）で連絡を待っています。フミ子さんは望月さんが経営する観光イチゴ園・かねちゅう農園で働いていたそうです。

〈宮城県〉
☆石巻市沢田の阿部昇一さん(60)へ　次女で登米市の今野ちひろさん(28)が消息を求めています。阿部さんは地震発生時、石巻市大街道南の「仙北メンテナンス」にいました。身長174㌢ぐらいで、紺色の作業服、茶色い靴をはいていたそうです。今野さんの携帯電話（090・9533・4702）か、阿部さんの自宅（0225・97・4515）に情報を寄せてください。

☆仙台市青葉区の原山重明さん、妻の優子さんへ　スイス・バーゼルのビーデマン吉武南さん(68)がメール（minamiyo80@hotmail.com）に連絡を求めています。原山さんは数年前にジュネーブに在住していた時、ビーデマンさんが経営していた旅行代理店を利用していました。優子さんは東北大教授らしいです。

☆女川町女川浜伊勢の遠藤節子さん（70代）へ　約20年前パート先で同僚だった横浜市の田丸京子さん(77)が捜しています。遠藤さんの息子の忠志さんは海産物販売店を営んでいました。「避難者名簿にお孫さんらしき3人と一緒に名前を見つけましたが、ご本人なら自宅（045・351・2766）に連絡ください」

☆東松島市大曲関の内の北村章平さん（70歳ぐらい）へ　東京都中野区の大島正昭（通称だいすけ）さんが心配していました。約30年前、東京都内の大島さんの職場に毎月トラックで上京していました。「昼休みによく食事に誘ってくれました。元気でいてほしい。電話（090・9955・4564）をください」

〈福島県〉
☆大熊町の吉田賢一さん（50代）、妻の美奈子さん（同）へ　親戚の大阪市の西川康雄さん(56)が自宅（06・6327・9012）か、携帯電話（090・8377・2469）への連絡を待っています。吉田さんは西川さんの母・北海道蘭越町の西川ウメさん(91)の親族です。ウメさんも心配しています。

×

▽31日「さがしています」掲載の福島県浪江町の山田勝さん(70代)は、山田優さんでした。捜している北海道苫小牧市の石山進太郎さんから申し出がありました。

みつかりました

▽22日掲載の宮城県石巻市蛇田五軒屋敷前の伏見千恵子さんから、友人の三重県鈴鹿市の尾崎美都子さん(57)に31日、封書が届きました。28日の消印で「家族皆、生きています。ごめんごめん」と書いてありました。家は津波を逃れたものの孤立していて物資が届かず、手持ちの食料でしのいでいるそうです。

▽30日掲載の仙台市青葉区の佐藤保子さんも無事でした。しんきゅう師学校の同級生から新聞に載っていると聞いた佐藤さんは、捜していたメキシコ在住の同級生・林千恵子さん(64)と、連絡役になった林さんの姉の定本寿美さんに電話しました。

家の中はガラスが散乱し、靴を履いていたそうです。兵庫県宝塚市に住む定本さんは、阪神大震災で自宅が全壊。「日々大変だと思う。できれば4月中にお会いしましょうと約束し、新しいご縁ができました。約50年前、東京都内の大島さんの職場に毎月トラックで上京していました。「昼休みによく食事に誘ってくれました。元気でいてほしい。電話（090・9955・4564）をください」

〈福島県〉
☆大熊町の吉田賢一さん（50代）、妻の美奈子さん（同）へ　親戚の大阪市の西川康雄さん(56)が自宅（06・6327・9012）か、携帯電話（090・8377・2469）への連絡を待っています。吉田さんは西川さんの母・北海道蘭越町の西川ウメさん(91)の親族です。ウメさんも心配しています。

×

▽31日「さがしています」掲載の福島県浪江町の山田勝さん(70代)は、山田優さんでした。捜している北海道苫小牧市の石山進太郎さんから申し出がありました。

みつかりました

▽22日掲載の宮城県石巻市蛇田五軒屋敷前の伏見千恵子さんから、友人の三重県鈴鹿市の尾崎美都子さん(57)に31日、封書が届きました。28日の消印で「家族皆、生きています。ごめんごめん」と書いてありました。家は津波を逃れたものの孤立していて物資が届かず、手持ちの食料でしのいでいるそうです。

▽30日掲載の仙台市青葉区の佐藤保子さんも無事でした。しんきゅう師学校の同級生から新聞に載っていると聞いた佐藤さんは、捜していたメキシコ在住の同級生・林千恵子さん(64)と、連絡役になった林さんの姉の定本寿美さんに電話しました。

家の中はガラスが散乱し、靴を履いていたそうです。兵庫県宝塚市に住む定本さんは、阪神大震災で自宅が全壊。「日々大変だと思う。できれば4月中にお会いしましょうと約束し、新しいご縁ができました。

▽30日掲載の福島県浪江町の岩倉文雄さんと妻公子さん、同町の豊口雄幸さんと妻澄子さんの4人も無事でした。捜していた山形市の原田小津絵さん(79)に、いとこの公子さん、澄子さんから同日電話がありました。澄子さん夫婦は、福島第1原発から約20㌔のため、福島市内の娘さん宅に避難中です。公子さん夫婦は津波と地震で家が被害に遭い、今は福島県内の体育館にいるそうです。

がんばろう

●ボストンの大学に通う日本人学生です。毛布やカイロは今すぐ届けられませんが、世界中からのメッセージで一瞬でも心温かく、そして多くの笑顔を日本に！＝ZEUpray4Japan

●被災された方へ。生きてほしい。今はただ、ことを忘れて、人のために頑張っているに違いない。せっかく助かった命。自分のケアも！＝uriki

●被災地のニュースの中で、子どもを背負って体に毛布を巻き付けている被災者の姿に涙が出ました。おむつなどはもらえても、防寒着は不十分なのかと気がかりです。手元に未使用の亀の子や赤ちゃん用綿入れがありますので、よろしければ届けたいです＝仙台市若林区、着物コンサルタント、千葉やすよさん(68)

希望新聞ツイッターに寄せられたメッセージより

●被災地の皆さんは、自分自身が被災者であるそれだけです。どうか地震に、津波に、心まで奪われないで。涙が復興への原動力に変えられることを信じています。生きましょう！＝satoko_page

●埼玉県の精神・発達障害者ですが、私は震災で、自分が生かされてることを感じました。一緒に生きてほしいです。いつかきっと神戸のように復興すると思います。お身体に気をつけて。皆様が頑張っている姿ですごいです＝miyabi198209 17

●小さな愚痴も溜めないで吐き出してください。辛い時に一人で耐えようとしないでください。繋がりましょう＝yamazame0709

サポート情報 ～東日本大震災～

31日現在

入浴

自衛隊の入浴支援は次の通り。タオルなどは持参する。

〈岩手県〉津軽石小（13～22時）▽山田高（11時半～21時）▽山田南小（シャワーのみ、13～21時）▽シープラザ釜石（12～21時）▽盛小（12～20時）▽米崎小（8～21時）▽大槌町ふれあい公園（12～21時）

〈宮城県〉気仙沼小（8～20時）▽南三陸町ベイサイドアリーナ（10～18時）▽女川総合運動公園（8～12、13～17、18～20時）▽石巻市消防本部グラウンド（8時～17時半）▽万石浦中（12時～19時半）▽石巻市中央2市営駐車場（12時半～16時半）▽鮎川浜・清優館（シャワーのみ、13時～16時半）▽大塩市民センター（シャワーのみ、9～12、14～19時）▽小野市民センター（シャワーのみ、9～12、14～19時）▽航空自衛隊松島基地（男性11～13時、女性14～16時）▽山下小（8～22時）▽亘理町中央児童センター（8～22時）▽逢隈中（8～22時）

〈福島県〉向陽中（12～21時）▽あづま総合運動公園（女性13～18時、男性18～21時）▽田村市総合体育館（12～22時）▽塩釜市水道部☎022・364・1411、1412▽名取市水道事業所☎022・384・2111▽松島町災害対策本部☎0223・54・5701▽利府町上下水道課☎022・767・2111▽富谷町災害対策本部☎022・358・3111▽亘理町安全対策班☎0223・34・1111▽七ケ浜町水道事業所☎022・357・7456▽山元町上下水道事業所☎0223・37・1120▽蔵王町上下水道課☎0224・33・3000

〈福島県〉相馬市・新地町（相馬地方広域水道企業団災害対策本部）☎0244・35・1020▽南相馬市水道課☎0244・24・5271▽いわき市水道局☎0246・22・9310

〈茨城県〉神栖市水道課☎0299・90・1164

学校

小中学校は市町村教委、高校は都道府県教委が基本的な窓口。

〈新潟県〉高校は1日の一斉転入学試験以降も随時対応。県教育庁高等学校教育課☎025・280・5611。小中学校は避難先の市町村が原則だが、それ以外も可。同義務教育課☎025・280・5604（特別支援学校も）。

〈山形県〉高校生は県教委に転学願を提出し、希望校を受験する。受験の可否、転学の許可・不許可は県教委から連絡する。県教育庁高校教育課☎023・630・3106▽小中学校＝同義務教育課☎023・630・2871▽特別支援学校＝同特別支援学校☎0225・63・0286。

〈秋田県〉高校生は県立高への転学が可能で、書類などをもとに相談に応じる。今春の受験合格者も準じる。児童・生徒受入支援チーム（県教育庁総務課）☎018・860・5112。

〈栃木県〉高校＝県委学校教育課☎028・623・3382▽小中学校＝同教職員課☎028・623・3385▽特別支援学校＝同特別支援教育室☎028・623・3381。

〈神奈川県〉高校＝県教育局転編入学情報センター☎045・210・8235▽小中学校＝同子ども教育支援課☎045・210・8217▽特別支援学校＝同特別支援教育課☎045・210・8276。

〈東京都〉高校＝都教育庁高等学校教育課☎03・5320・7851～3▽小中学校＝同義務教育課☎03・5320・6752▽特別支援学校幼稚部、高等部＝同特別支援教育推進室☎03・5228・3433（小・中学部は義務教育課へ）。

給水

31日午前8時現在、8県の少なくとも26万戸で断水が続く。復旧状況や給水に関する主な自治体の窓口は以下の通り。給水を受けるにはポリタンクなど容器持参が必要。

〈岩手県〉宮古市上下水道事業所☎0193・63・1115

〈宮城県〉仙台市水道局コールセンター☎022・748・1111▽気仙沼市ガス水道部☎0226・23・9900▽石巻市・東松島市（石巻地方広域水道企業団）☎0225・95・6711▽多賀城市上水道部☎022・368・1141

商業施設

〈いわて生活協同組合〉1日、岩手県大船渡市内で食料品などの移動販売を実施。正午ごろ～16時ごろ、同市綾里地区と赤崎地区で。山田町の大沢ふるさとセンターでも同日正午ごろから炊き出しをする。☎0193・687・1321。

石巻港湾病院に入院中に、自宅が津波の被害に遭った横山まつ子さん（71）。「津波で家も流されてしまった。退院してもどこに帰ればいいのか」と話す。今は同じ病室の友人に支えられている＝宮城県石巻市で31日、幾島健太郎撮影

その他

〈イオン〉気仙沼店は1日10時から店舗屋上部分で営業再開する。入場制限あり。閉店時刻は未定。

■宿泊施設

県庁所在地や沿岸に近い地域を中心に、宿泊できる主な施設。食事や入浴に制限のある場合も。（Bはビジネス、Hはホテル）

〈岩手県〉◆洋野町 アグリパークおおさわ▽グリーンヒルおおの▽大谷温泉◆盛岡市 Hエース盛岡▽南部湯守の宿 観◆一関市 蔵H一関▽一関グリーンH▽東横イン一ノ関駅前▽@H▽チサンイン岩手一関インター▽Hルートイン一関インター▽@BH一関▽BHSATOU▽旅苑松本▽一関プラザH

〈宮城県〉◆仙台市 Hルートイン仙台泉インター▽アパヴィラH仙台駅五橋▽東横イン仙台東口2号館▽Hグリーンチェーン仙台▽杜のH仙台▽THE HOTEL SENDAI▽旅館つかさ▽Hセントラル仙台▽Hモントレ仙台▽仙台ガーデンパレス▽道中庵ユニホステル▽メープル仙台ユースホステル▽丘のH▽サウナ&カプセルキュア国分町▽エスポールみやぎ▽H華乃湯▽La楽リゾートHグリーングリーン▽旅館岩泉▽作並H◆白石市 業師の湯◆登米市 かくやま旅館▽望遠閣▽旅館海老紋▽BHタケカワ▽鮭武旅館▽民宿中田荘▽鈴木屋旅館◆角田市 グリーンH角田◆柴田町 H原田inさくら▽逢隈旅館◆名取市 Hルートイン名取◆岩沼市 H小野▽H桃幸

■金融機関

金融機関の窓口営業状況は次の通り。

岩手銀行 大船渡▽高田▽釜石▽はまゆり▽大槌▽宮古▽山田▽野田▽気仙沼の9店休業。山田町役場▽大槌高▽JR気仙沼駅前の元ジブラルタ生命ビル▽野田村役場（相談業務のみ）――で臨時出張所（平日10～14時）を開く。2、3日の9～15時は7店（本店、盛、世田米、中妻、宮古中央、久慈中央、千厩）で臨時窓口も開設予定。

東北銀行 宮古が休業。陸前高田市竹駒町館117の2▽南三陸ショッピングセンターサン・リア▽釜石市中妻町1の21の11――で臨時出張所（並日10～14時）を開く。被災者相談ダイヤルは☎0120・164・416（9～17時）。

七十七銀行 泉崎▽小松島▽高森▽塩釜▽北浜▽七ケ浜▽矢本▽穀町▽石巻▽湊▽渡波▽鮎川▽女川▽新中里▽鳴瀬▽中津山▽気仙沼▽内脇▽志津川▽閖上▽仙台空港▽エアリ▽杜せきのした▽原町の25店で休業。仙台駅前、小名浜は再開した。

東邦銀行 郡山市役所▽原町▽小高▽浪江▽富岡▽双葉▽楢葉▽大熊▽四倉の9店が休業。矢吹は仮店舗（矢吹町滝八幡169）で営業。

■補聴器

日本補聴器工業会は、会員メーカーが被災者に、代替補聴器や電池の提供、修理点検を無償で行うと発表した。青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、茨城、千葉8県の販売店で購入した人が対象。代替器や修理点検は購入店へ。店が不明な場合、各メーカーへ直接申し込む。電池は約1週間で切れるといい、メーカーに電池の型を明記し、はがきやファクスなどで申し込む。電池は輸入品が多く在庫がなくなることもあるとしている。

メーカーは14社で、リオン▽パナソニック補聴器▽オーティコン▽ジーエヌリサウンドジャパン▽コルチトーン補聴器▽シーメンスヒヤリングインスツルメンツ▽ワイデックス▽スターキージャパン▽ニュージャパンヒヤリングエイド▽バーナフォン▽フォナック・ジャパン▽理研産業▽キコエ製作▽アルトテクス。工業会のウェブサイトで確認できる。販売店もメーカーも分からない場合や他の問い合わせは同会事務局（☎03・5283・6244）へ。

■学習支援

〈進学プラザグループ〉新小学1年生～新中学3年生を対象に、6日まで無料勉強会を実施。12～17時に前学年の復習を中心に学習する。要事前申し込み。実施教室は仙台市内で▽泉中央校▽泉ビレジ教室▽通町教室▽八幡町校▽仙台駅前校▽小鶴新田校▽長町校。他に▽ゆりが丘教室（名取市）▽成田教室（富谷町）▽利府教室（利府町）。12～30日に10教室で集団指導、19教室で個別指導の無料授業も実施。普段通塾していなくても参加可能。同グループ教育本部☎0120・203・859。

HPで避難者名簿

岩手、宮城、福島の3県はホームページ（HP）で、各県内の避難者名簿を公表している。他県に避難した住民も一部掲載している。宮城県は「避難者情報ダイヤル」（☎022・211・3430）で問い合わせに対応。福島県も「避難所入所者情報センター」（☎024・521・5543～4）で対応している。

×

宮城、福島の両県警は相談が寄せられた行方不明者の一覧をHPで掲載中。岩手県警を含む3県警は、見つかった遺体に関する情報もHPで掲載している。

■主な問い合わせ先■

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000
福島県警　0120・510・186

●ライフラインなど
NTT災害用伝言ダイヤル　171
東北電力　0120・175・366

●医療
＜放射線被ばく相談＞
▽文部科学省健康相談ホットライン　0120・755・199（9～21時）
▽放射線医学総合研究所相談窓口　090・5582・3521▽090・4836・9386▽080・2078・3308など計6回線で対応（9～21時）
＜人工透析＞
▽岩手県　人工透析相談窓口　019・629・5471
▽宮城県　仙台社会保険病院　022・275・3111（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
▽福島県　県地域医療課窓口　024・521・7221
＜その他＞
日本医師会　03・3946・2121
日本糖尿病協会　0120・151・721
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談　0120・366・556（平日10～15時）
あしなが育英会　0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916（13～22時。日本臨床心理士会など）
いのちの電話震災ダイヤル　0120・556・189（4月9日まで毎日8～22時）
チャイルドライン支援センター　0120・99・7777（月～土16～21時）
多文化共生マネージャー全国協議会　▽英語　080・3503・9306（他に中国語、スペイン語などの窓口あり）
＜視聴覚障害者向け＞
「全日本ろうあ連盟」や「全国盲ろう者協会」がウェブサイトで支援情報などを提供。

●省庁
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556（茨城行政評価事務所）0120・188・571
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567

●金融機関など
岩手銀行　0120・064・626
七十七銀行　0120・78・1177
東邦銀行　0120・104・157
ゆうちょ銀行　0120・108・420
東北労働金庫　022・723・1111
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫　0120・154・505
そんがいほけん相談室（日本損保協会）　0120・107・808または03・3255・1306
地震保険契約会社照会センター0120・501・331
生命保険相談所（生保協会）　0120・226・026

●交通機関
JR東日本　050・2016・1600
JAL（国内線）　0570・025・071
ANA（国内線）　0570・029・222

移転した役所と連絡先

＜岩手県＞
▽陸前高田市　市学校給食センター北側仮庁舎　☎042・529・0094
▽釜石市　シープラザ釜石
▽大槌町　町中央公民館　☎080・1851・4911
＜宮城県＞
▽女川町　女川第二小学校☎0225・54・3261
▽南三陸町　町総合体育館ベイサイドアリーナ　☎0226・47・1131
＜福島県＞
▽広野町　小野町民体育館☎0247・72・6246
▽楢葉町　会津美里町本郷庁舎　☎0242・56・2155
▽富岡町　ビッグパレットふくしま　☎024・946・8813
▽川内村　ビッグパレットふくしま　☎024・946・8828
▽大熊町　田村市総合体育館　☎0247・82・1549
▽双葉町　埼玉県加須市・旧県立騎西高
▽浪江町　二本松市役所東和支所　☎0243・46・4736～9
▽葛尾村　会津坂下町・川西公民館　☎0242・83・2651

遠くの被災地より

仲間がいること忘れないで

能登半島地震で被災、仮設住宅の区長を務めた
藤本幸雄さん(57)
＝石川県輪島市

能登半島地震（07年3月25日）で被災し、母と2人で暮らしてきた家は半壊、自宅の再建はあきらめました。あの日、激しい揺れに布団を飛び出して逃げました。崩れ落ちた家を見ても、自分に降りかかった現実が理解できませんでした。仕事や将来への不安が募り、どう生きていくかと、いら立ちに似た気持ちにもなりました。

他人同士が集まって暮らす避難所生活はプライバシーが確保されず、ストレスがたまります。しかし、不思議なことに、次第に「みんな仲間だ」という思いが芽生えてきました。被災前と比べると足りないものばかりの暮らしでしたが、毎日顔を合わせるうちに住民同士が励まし合えるようになりました。体調を気遣ったり冗談を言い合ったり、何気ない会話に気持ちも安らぎました。

私が強く生きようと思えたのは、40日間の避難所生活で人の絆を知ることができたからだと思っています。仮設住宅では2年間、区長として高齢の入居者の見回りを続けました。地震で失われた命があるのに、孤独を理由に、助けられた命が絶たれることがあっては絶対ならないと思ったからです。

住民だけでなく行政もみんな仲間です。一人が動き始めると、必ず仲間がその人のもとへ集まってきます。そんな姿に被災者も希望を感じられるのではないでしょうか。一人ではないということを決して忘れないでください。

【聞き手・宮嶋梓帆】

Q&A

Q 哺乳瓶を洗えない時のミルクの与え方は？

A 紙コップを使いましょう

災害時こそ赤ちゃんの健康を守るために、母乳育児が大切とも言われていますが、粉ミルクを与えざるを得ない場合もあるでしょう。調乳には清潔な水と洗剤で洗った容器を使います。哺乳瓶を十分に洗えない時は、不衛生になりやすいので、紙コップを使うと便利です。

飲ませる時は①赤ちゃんの目が覚めている状態でひざにのせ、やや縦抱きの姿勢をとり②コップの縁を少し折ってとがらせ、赤ちゃんの唇に軽くふれるようにし③ミルクが唇にふれるくらいまでコップを傾け、少しずつ自分で飲めるようにします。注ぎ込むのではありません。

日本母乳の会の永山美千子理事は「赤ちゃんは初め、コップを嫌がるかもしれませんが、話しかけながら、落ち着いて与えてみてください」といいます。

母乳育児の関連3団体がまとめた「災害時の乳幼児栄養に関する指針」（www.jalc-net.jp/hisai_for baby.pdf）に、避難所などで粉ミルクを調乳する場合の注意点が紹介されています。

【山崎友記子】

ミニニュース

■大槌高生徒に奨学金

国際医療救援団体「AMDA」（本部・岡山市）は、すべての医療機関が被害を受けた岩手県大槌町で活動を始め、医療を志す県立大槌高校の生徒を対象に「AMDA東日本震災国際奨学金」を創設する。国内外で寄付を呼び掛け、他の被災地にも拡大する方針。

支給開始は新学期から。月1万5000円で各学年5人まで。期間は3年間。菅波茂理事長は「若い人に希望を持ってもらい、医療に携わる人材が増えれば」と話す。AMDAは災害地に医師や看護師らを派遣する非政府組織（NGO）で、世界30カ国に支部を持つ。

■工業高生が車いす支援

各地の工業高校の生徒たちのボランティアグループ「空飛ぶ車いす」が、被災地の避難所などに車いすを贈っている。これまでに福島県災害対策本部に30台、宮城県南三陸町立志津川小の避難所に10台を寄贈。避難所や仮設住宅からの要望に応えたいという。

車いすは、古くなったり体に合わなくなって破棄されるものを施設や個人から譲り受け、機械メンテナンスを学ぶ工業高生たちが修理した。路面状態の悪い場所でも使えるよう、チューブのないタイヤに交換している。

連絡は支援団体の「空飛ぶ車いすを応援する会」☎03・3846・2172、メール（KGK00174@nifty.com）。車いすの修理部品代などの支援も募っている。

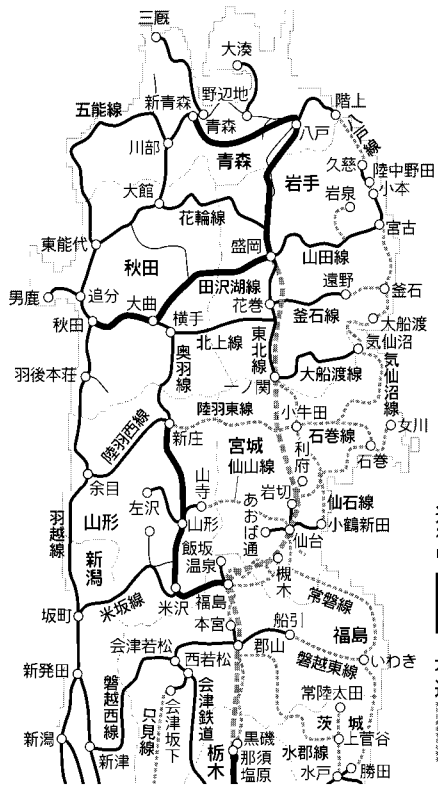
■支援物資を募集

日本国際芸術文化協会（東京都港区）は、被災地へ送る支援物資を募集している。協会スタッフが取りまとめて現地に届ける。物資の内容や発送方法は事前に電話で相談を。同協会☎0430・5117。

■鎌倉で被災者受け入れ

神奈川県鎌倉市の常盤273の3、宿泊施設「鎌倉ゲストハウス」（岡村拓代表）は4月末まで、被災者を無料で受け入れる。「東北地方のお客様にお世話になったので」と岡村さん。女性部屋（4人程度）と男性部屋（5人程度）のほか、いろりがある共用居間がある。調理器具を備えたキッチン、シャワー、冷蔵庫（いずれも共用）のほか洗濯機（1回100円）もある。期限までなら何泊でも可。通常は1泊3000円。詳細はホームページ（http://www.kamakura-guesthouse.com）。☎0467・67・6078。

運行中 ═ 不通



主な鉄道の運行状況 ※1日予定含む

◆主な鉄道の運行状況◆

●新幹線
<東北新幹線>一ノ関―盛岡が8日ごろ、那須塩原―福島が今月中旬、福島――ノ関が今月下旬まで。盛岡―新青森、東京―那須塩原は運行
<秋田新幹線>盛岡―秋田で運行
●JR在来線の再開見込み
※1日は太船渡線の一ノ関―気仙沼、仙山線の山寺―山形、陸羽西線の新庄―余目が運転再開予定
<東北線>安積永盛―郡山、岩沼―仙台が2日。本宮―福島、岩切―松島、岩切―利府が5日。福島―岩沼、松島―小牛田、花泉―一ノ関が今月上旬。黒磯―安積永盛、小牛田―花泉が今月中旬
<釜石線>遠野―釜石が今月上旬
<常磐線>勝田―高萩が9日ごろ、亘理―岩沼が今月中旬、高萩―いわきが今月下旬
<仙山線>仙台―愛子が4日。愛子―山寺が今月中旬
<仙石線>小鶴新田―東塩釜が今月中旬
<石巻線>小牛田―前谷地が今月中旬
<磐越東線>船引―小野新町が今月中旬
<只見線>会津坂下―会津川口が今月上旬
<陸羽東線>小牛田―新庄が3日
<水郡線>常陸青柳―安積永盛、上菅谷―常陸太田が今月中旬、水戸―常陸青柳が今月下旬
●その他
<三陸鉄道北リアス線>宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
<仙台市地下鉄>富沢―台原は運行

■公営住宅の被災者受け入れ■

★被災者向け公営住宅等情報センター
フリーダイヤル 0120・297・722 （9～18時）
被災者が入居可能な全国の公営住宅、UR賃貸住宅などの情報を紹介する。入居は原則無料。希望先の住宅を管理する自治体などに電話が転送される。有料の民間賃貸住宅も案内している。

◆近隣都道県の避難者受け入れ先◆

<北海道>道外被災県緊急支援対策本部☎0120・113・926
<青森県>県生活再建・産業復興局☎017・734・9581
<岩手県>県内陸部の宿泊施設で受け入れ。県政策地域部の専用窓口☎019・629・5216
<秋田県>県被災者受入支援チーム☎018・860・4504
<山形県>県避難者支援班
☎023・625・1605、1608、023・630・3100
<新潟県>相談窓口＝東北電力ビッグスワンスタジアム☎025・287・8861
<茨城県>県避難対策班☎029・301・6735
<栃木県>相談窓口＝道の駅「那須高原友愛の森」☎0287・78・3033
<群馬県>県避難者受入れ支援センター
☎0270・26・9420～1、9423
<東京都>都総合防災部☎03・5320・4007
<神奈川県>県災害支援担当☎045・210・5970
<埼玉県>県福祉監査課☎048・830・3440
<千葉県>県の専用窓口☎043・223・3411
<山梨県>県相談窓口☎055・223・1519
<長野県>県相談窓口☎026・235・7407

◆主なバスの運行◆

<岩手県北バス>☎019・654・5814
盛岡―郡山、盛岡―宮古、盛岡―久慈など。
<岩手県交通>☎019・654・7755
釜石、大船渡、陸前高田、大槌の3市1町を除き4日から一般路線が通常運行になる（改正ダイヤ）。盛岡―大船渡、盛岡―陸前高田、盛岡―釜石、江刺―仙台、一関・千厩―気仙沼なども運行中。
<ミヤコーバス>☎022・771・5310
1日から本塩釜―小鶴新田駅で6往復を運行する（本塩釜―仙台駅間は終了）。仙台―郡山は二本松を経由する。2日からは、JR仙台―岩沼駅間の復旧に伴い、岩沼駅と白石市、山元、大河原町を結ぶ路線を運行（仙台市内から白石、岩沼市、亘理、山元町への各便は1日で終了）。仙台一気仙沼（1往復）、仙台―石巻（22往復）も運行中。
<日本三景交通>☎022・354・5151
松島―岩切、仙台―多賀城で運行中。
<福島交通>☎024・531・2706（福島）☎024・943・1651（郡山） 相馬地区を除き6日から一般路線が通常運行になる（改正ダイヤ）。郡山と那須塩原、若松、いわきを結ぶ各路線は1日から増便。他に伊達―仙台、福島―二本松、郡山―二本松、白河―須賀川など。相馬―仙台、相馬―福島は新地町を経由。

希望新聞

「検察在り方」会議

可視化「一層拡大を」

「刑事司法」見直しも提言

郵便不正事件に絡む証拠改ざん・隠蔽事件を受け設置された法相の私的諮問機関「検察の在り方検討会議」は31日、冤罪防止や人権保障の観点から、取り調べの録音・録画（可視化）の範囲を一層拡大すべきだとする提言を江田五月法相に提出した。供述調書に過度に依存した捜査・公判から脱却し刑事司法制度を根本から改める必要があるとも指摘。客観証拠を得るための新たな捜査手法の導入も含めて検討を求めた。

提言を受け江田法相は、刑事司法制度転換に向けた検討のため、年内の早い時期に法制審議会へ諮問する可能性が高い。可視化については既に、6月以降の早い時期に法務省内の検討結果を公表することを明らかにしている。来年をめどに、現行の一部可視化の運用を拡大したり、法制化を図るとみられる。

提言は、特捜部の独自捜査や、意思疎通が困難な知的障害者の取り調べに全過程の録音・録画（全面可視化）の試行を検討するよう求めた。最高検などが試行の実現に向け検討する見通し。

検察の使命については有罪判決の獲得のみを目的とせず、公益の代表者として公正な裁判の実現に努めなければならないと強調。幹部研修を含めた教育・研修の改善や、同僚や部下による評価も含めた適切な人事評価が必要とした。また、監察担当部署を創設し、違法・不適正行為の調査や是正に当たり、検察運営全般について外部の有識者の助言を受けるべきだとしている。

存廃が議論された特捜部については、大きな事件を立件しようという過度のプレッシャーから抜け出す必要もあると指摘。捜査能力向上とチェック機能強化を図るため、名称や体制、人員などを含めた検討が必要とした。

検討会議は10年11月に当時の柳田稔法相が設置。座長の千葉景子元法相や但木敬一・元検事総長、宮崎誠・前日弁連会長、龍岡資晃・元福岡高裁長官、佐藤英彦・元警察庁長官をはじめ学者やジャーナリスト6委員15人が15回の会合を開いた。

早急な実現に期待

宇都宮健児・日本弁護士連合会会長の話 全面可視化を提言して検察の信頼を取り戻すべきだと我々は訴えてきたが、ただちに制度化するよう検討会議が求めなかったのは大変残念。一方で可視化の範囲を拡大する方針を示し、知的障害者などについて全面可視化の試行を求めた点は評価できる。早急な実現に期待したい。

改革の長期的展望に道筋

解説 検察を揺るがした不祥事からの再生策として「検察の在り方検討会議」は現行の刑事司法を根本から見直すべきだとの提言を示した。注目された取り調べ全過程の録音・録画（全面可視化）の導入は、運用面の検討を促すにとどまった。だが、成果を急がず、可視化のデメリットと、デメリットを補う方策を検討する長期的な展望に道筋をつけた意味で、評価できるだろう。

議論は当初、厚生労働省の元局長が無罪となった郵便不正事件の反省から、捜査当局の描いた構図を容疑者に押しつける取り調べが横行しているとの指摘が相次いだ。密室で強圧的に自白を求める手法の解消策として、全面可視化の早期導入が求められたのは自然な流れとも言える。

だが、全面可視化で自白が得にくくなることを考えれば、取り調べに代わり客観証拠を集める捜査側の武器も必要だ。検討会議の議論では元警察庁長官ら捜査機関OBの委員がこの点を重ねて力説。「新たな時代の捜査・公判への移行が必要」として提言の中核に取り入れられた。

複数の委員から「全面可視化導入の先送りだ」と反発も出たが、冤罪防止とともに捜査機関の機能維持を併せて検討する場が必要だとの提言は、遠回りであるようで、今回の事件を生んだ土壌を根絶する近道ととらえてよい。法務・検察当局には提言を真摯（しんし）に受け止めた速やかな方策実現が求められる。【石川淳一】

太平洋側在来線 23の駅舎が流失

JR東・被害状況

JR東日本は31日、太平洋側の在来線の津波被害状況を発表した。八戸、山田、大船渡、気仙沼、石巻、仙石、常磐の7線区の駅施設と軌道を点検した結果、大船渡線・陸前高田駅や気仙沼線・志津川駅など駅舎流失が23駅、線路の流失や埋没などが計720カ所に上った。

被害は、線路流失が18カ所で延長22キロ▽橋げた流失7カ所▽軌道の変形160カ所▽橋りょうや高架橋の損傷10カ所――など。点検は全98駅舎のうち95カ所で完了したが、線路は延長325キロのうち152キロにとどまっており、被害件数は増える見込み。多くの区間が運行停止中で、再開の見通しは立っていないという。【斎藤正利】

ボーン・上田賞 大治記者授賞式

優れた報道で国際理解に貢献した記者に贈られる10年度の「ボーン・上田記念国際記者賞」授賞式が31日、東京都千代田区の日本記者クラブで開かれた。毎日新聞外信部の大治朋子記者（45）＝前北米総局長＝と朝日新聞中国総局の峯村健司記者（36）が受賞した。毎日新聞の受賞は11人目となった。

大治記者は北京特派員時代の09年2月、長期連載「テロとの戦いと米国」を開始。アフガニスタン駐留米軍に従軍（エンベッド）取材するなど対テロ戦争の最前線をさまざまな角度から描き「戦争の負の部分に光をあてた長期連載を完成させた」と評価された。

また、09年11月開始の長期連載「ネット時代のメディア・ウオーズ」（継続中）についても「インターネット時代の米国のメディア事情を掘り下げて伝えた」と認められた。

授賞式で大治記者は「支えてくれた多くの関係者や同僚に感謝したい。これからも自分の問題意識を生かし、事象に可能な限り接近する『虫の目』と、時代の流れを俯瞰する『鳥の目』を持ちながら取材したい」と語った。

秋葉原殺傷で被告側が控訴

東京・秋葉原で7人が死亡、10人が負傷した無差別殺傷事件で、殺人罪などに問われた元派遣社員、加藤智大（ともひろ）被告（28）の弁護人は31日、死刑を言い渡した東京地裁判決（24日）を不服として控訴した。

東電計画停電 きょうも実施せず

東京電力は31日、地域別で順番に電力供給を停止する計画停電の実施を、1日も終日見送ると発表した。終日見送りは4日連続で、計画停電が始まった3月14日以降、最長となる。今週末の実施については1日に判断するが、週末はこれまで実施しておらず、見送りの可能性が高い。

1日は気温が平年並みに推移するとして、夕方のピーク時の需要を3350万キロワットに抑えられると想定。供給能力が需要を400万キロワット上回るため、安定供給できると見込んでいる。【青木勝彦】

×

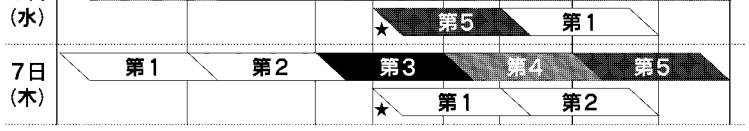
東電は、計画停電の対象地域を25の小グループに細分化した詳細な一覧表を、同社ホームページ（http://www.tepco.co.jp/index-j.html）で各都県ごとに公開している。また、都県名、市区町村名、町名・大字名とたどっていけば、自宅などの所在地がどの小グループに属するか分かる検索サービスもホームページ上で実施している。地域分けは変更になる場合があり、ホームページを日々更新する予定。問い合わせ専用ダイヤル（0120・925・433）は土日を含め24時間対応する。

東電も見送り

東北電力は31日、計画停電を、1日も実施しないと発表した。需要に見合う電力が供給できる見込みのため。

東京電力の計画停電スケジュール

各グループの停電は3時間程度ずつ。電力需要が想定を大きく上回った場合、午前中の停電予定2グループを、午後（★の時間帯）の計画に加えることがある



羽根九段が挑戦

本因坊戦挑戦リーグ

羽根直樹九段

松江市・玉造温泉の佳翠苑皆美で行われる。2番手だった張栩棋聖が瀬戸大樹七段に敗れ、羽根が道吾にリターンマッチを挑むことが確定。その後、羽根は王立誠九段を降し、6勝1敗となった。

羽根は三重県出身で父は元王座の泰正九段。本因坊戦では、08年に当時の高尾紳路本因坊を破り、09年は高尾の挑戦を退けて防衛。10年は道吾に敗れた。他に棋聖2期、天元3期など、タイトル獲得・棋戦優勝は計19回。一方、王、小林覚九段、高尾、趙善津九段の4人はリーグから陥落した。【金沢盛栄】

羽根九段の話 締めずに打ったことが結果につながった。七番勝負を昨年よりも盛り上げたい。

（上が勝ち、△は先番）
△瀬戸七段中押し張 棋聖（4勝3敗）（4勝3敗）
△井山名人中押し高尾九段（4勝3敗）（2勝5敗）
趙（2勝5敗）（3勝4敗）
羽根九段半目△王 九段（6勝1敗）（3勝4敗）

第66期本因坊戦リーグ（毎日新聞社主催）最終7回戦の4局が31日、名古屋市の日本棋院中部総本部などで行われ、羽根直樹九段（34）が本因坊道吾（32）への挑戦権を獲得した。七番勝負の第1局は5月11、12の両日、松江市・玉造温泉の佳翠苑皆美で行われる。

第542回ロト6

数字選択式全国自治宝くじ（31日・カッコ内は口数）
本数字＝10、14、23、35、38、41
ボーナス数字＝17
1等 1億4840万100円（2）
2等 1405万8800円（19）
3等 45万4000円（706）
4等 8400円（33515）
5等 1000円（486715）
※次回繰越当選金 0円

ナンバーズ3

第3082回
数字選択式全国自治宝くじ（31日・カッコ内は口数）
ナンバーズ4 3778
ストレート 98万9700円（32）
ボックス 8万2400円（127）
セット・ストレート 53万6000円（89）
セット・ボックス 4万1200円（739）
ナンバーズ3 225
ストレート 6万5400円（160）
ボックス 2万1800円（379）
セット・ストレート 4万3600円（282）
セット・ボックス 1万900円（429）
ミニ・下2ケタ 6500円（610）